

平成27年度の総括

1 街頭補導活動

街頭補導活動は、非行少年の早期発見、早期指導、少年の街頭における活動実態の把握、少年をとりまく社会環境の浄化等を目的に、日野町少年補導委員と少年センター職員が合同で46回延べ207人が参加して実施した。

少年が好んで集まる場所、不良行為を誘いやすい場所といわれる量販店を重視して、補導活動を実施し、小学生34人、中学生118人、高校生42人に愛の声かけを行った。特に中学生の目立った行動には警察官とともに注意指導を行った。また、コンビニ、日野駅、松尾公園等にも立ち寄り愛の声かけを行った。

8月に開催された「氏郷まつり夏の陣2015」において巡回補導活動を実施し、中学生20人(うち女子10人)、高校生10人(うち女子5人)、無職少年1人に早く自宅に帰るよう声かけを行った。

少年センター独自の活動として、小学校下校時の通学路で「愛の声かけとマナーの呼びかけ」、中学校周辺での生徒の喫煙や怠学等のパトロールも実施した。

また、中央地区高等学校生徒指導連絡協議会の街頭補導活動(近江鉄道八日市駅前)や7月の青少年の非行・被害防止滋賀県強調月間や11月の滋賀県子ども・若者育成支援強調月間一斉啓発活動や巡回活動にも参加した。

2 広報啓発活動

青色パトロール車で啓発宣伝を実施し、多くの子ども達、地域の皆さんに啓発活動を行った。

非行防止の取り組みや情報、少年補導委員の活動状況等の記事を掲載した「少年センターだより」を5月14日、7月16日、11月12日、平成28年2月25日に発行し、新聞折り込みで全戸配布した。配布後には、無職少年の相談電話などもあり関心を持って読んでいただいているものと考えている。

また10月24日には、東近江警察署生活安全課、日野町少年補導委員の協力の下、「氏郷まつり“楽市楽座2015”」において、少年の非行防止や薬物乱用防止の啓発活動を実施し、日野町少年補導委員による、手作りのしおりと蛍光ペンの「薬物乱用防止啓発グッズ」800個を中学生、小学生に手交した。小学生以下のこども達にはバルーンアートのハート、剣、アンパンマンを作成し配布した。大変好評でありたくさんの子ども達に啓発ができた。

更に日野町少年補導委員の手作りによるペープサートで幼稚園を訪問し園児を対象に防犯啓発を行った。

日野町少年センターホームページのコラム欄では「少年の非行防止の呼びかけ」を月1回実施した。

3 相談活動

総相談件数は電話相談を含め延べ472回であった。

中学生の来所相談は延べ243回で、進学のこと、三者懇談のこと、進学の予定高校などの相談が中心であった。

また、高校生の来所相談は延べ173回で勉強のこと、試験のこと、アルバイトのこと、クラブ活動のこと、男子は喫煙、バイク免許などの相談が大半であった。

就労相談は、高校を中退した17歳の無職少年等5人が、延べ25回来所した。町内には潜在的な無職少年が多数いると思われるが、少年センターで把握することは難しく引き続き広報に努める必要がある。

また中学校、高等学校との連携を密にし、不登校生徒の把握や中途退学生の把握に努め、関係機関との緊密な連携のもとに、相談活動を進め、就労等の実現に努めていきたい。

4 環境浄化活動

少年の健全育成を阻害すると認められる有害環境への立ち入り調査を実施した。

(1) 有害図書等の取扱店に対する立入調査

書店、図書取り扱いコンビニ店舗等に対して、月2回の立入調査を実施した。

(2) 白ポストの回収

日野駅に設置してある白ポストを毎月回収し、有害図書18冊を回収した。

(3) 刃物類取扱者に対する調査

刃物取扱業者、金物、刃物取扱店(1店)および量販店(7店舗)について条例確認の有無や年齢確認の状況などについての調査を行った。

5 高等学校訪問と追跡調査

9月から10月にかけて、日野高校、大津市、草津市、甲賀市、東近江市の高等学校を訪問し、日野町内より通学している生徒の状況把握を行ない、出席状況、授業態度、行動等の聞き取りを行った。

高校では中学校とは違う先生との出会いや、新たな友達との出会いでまじめにクラブ活動や勉学に取り組んでいる生徒がいる反面、中には出席状況が悪い生徒、すでに退学をしている生徒、家庭謹慎を受けている生徒もおり、学習支援や就労支援を引き続き行う必要がある。

6 関係機関との連携

日野町防犯自治会、日野町青少年育成町民会議、社会を明るくする運動、薬物乱用防止対策指導員会、各学校生徒指導連絡協議会、県をはじめとした関係機関主催の会議、研修会等の行事に参加した。

また中学校との連携と連絡を密に行い、課題のある生徒のつについては来所を促すなど個人情報を守りつつ継続して指導した。